

科目名 (英)	地域在宅看護方法論Ⅲ	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	看護学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (1)	開講区分	後期
【授業の学習内容と心構え】 看護師・保健師の資格を有し、臨床経験のある教員が教授する。地域に暮らす人々を支える様々な支援について現場の取り組みを知り、地域包括ケアシステム・地域共生における看護師の役割を考えることができる。							
【到達目標】 地域における看護師の役割を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				フィールドワークには、事前学習を行ってから望むこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 救急車同乗実習 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			9	【授業単元】 地域における看護師の役割 【授業形態】 講義 【到達目標】		
2	【授業単元】 救急車同乗実習 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			10	【授業単元】 がん患者と家族の支援 【授業形態】 講義 【到達目標】		
3	【授業単元】 救急車同乗実習 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			11	【授業単元】 がん患者と家族の支援 【授業形態】 講義 【到達目標】		
4	【授業単元】 人工透析治療 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			12	【授業単元】 乳児院・児童相談所 【授業形態】 講義 【到達目標】		
5	【授業単元】 地域における総合病院の役割 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			13	【授業単元】 乳児院・児童相談所 【授業形態】 講義 【到達目標】		
6	【授業単元】 看護小規模多機能型居宅介護 【授業形態】 講義 【到達目標】			14	【授業単元】 地域共生について考える 【授業形態】 グループワーク 【到達目標】		
7	【授業単元】 看護小規模多機能型居宅介護 【授業形態】 講義 【到達目標】			15	【授業単元】 地域共生について考える 【授業形態】 グループワーク 【到達目標】		
8	【授業単元】 地域における看護師の役割 【授業形態】 講義 【到達目標】			【評価について】 フィールドワーク・講義におけるレポートの提出			
【特記事項】							

科目名 (英)	地域在宅看護方法論Ⅳ	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	看護学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期
【授業の学習内容と心構え】 看護師・保健師の資格を有し、臨床経験のある教員が教授する。フィールドワークにて、地域に暮らす障害を抱える方々の生活について学び、障害を抱える方々が地域で暮らすために必要な制度・環境・支援について考える。							
【到達目標】 障害のある方々が地域で暮らすために必要な制度・環境・支援について理解することができる。 障害のある方々が地域で暮らすための課題を考え、課題解決のために必要なことを導き出すことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 支援センターかさい 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			9	【授業単元】 東京都立鹿本学園 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】		
2	【授業単元】 支援センターかさい 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			10	【授業単元】 東京都立鹿本学園 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】		
3	【授業単元】 障害者福祉・制度 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			11	【授業単元】 日本聾話学校 【授業形態】 講義 【到達目標】		
4	【授業単元】 社会福祉法人千桑 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			12	【授業単元】 日本聾話学校 【授業形態】 講義 【到達目標】		
5	【授業単元】 社会福祉法人千桑 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			13	【授業単元】 フラップヤード・ブルーム 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】		
6	【授業単元】 社会福祉法人千桑 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】			14	【授業単元】 フラップヤード・ブルーム 【授業形態】 フィールドワーク 【到達目標】		
7	【授業単元】 NPO法人みかんぐみ 【授業形態】 講義 【到達目標】			15	【授業単元】 障害のある方の地域生活について 【授業形態】 グループワーク 【到達目標】		
8	【授業単元】 NPO法人みかんぐみ 【授業形態】 講義 【到達目標】			【評価について】 フィールドワーク・講義におけるレポートの提出			
【特記事項】							

科目名 (英)	看護マネジメント	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	看護学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 大学病院で看護部長、副看護部長として、認定看護管理者の資格を持ち、日々管理業務を行っている教員が授業を担当する。 臨床現場における看護管理の全般(経営管理、人事・労務管理、教育・研究、業務管理、患者管理、情報管理、安全危機管理等)を関係法規をはじめ、病院の組織目標に沿って、看護管理者が看護部全体を組織化し、調整し、統制を行う一連の過程について学ぶ。 看護管理者の役割を学び、現場に必要なマネジメントとは何かを知ってほしい。							
【到達目標】 ・看護職が活動する多様な場や歴史を知り、社会の変化の中で果たしてきた役割・活動を理解する。 ・看護管理とはどういうことか、看護管理が行われる組織について理解しその重要性を理解する。 ・社会人として、生涯学習を行う上での看護職のキャリアについて理解する。 ・多職種と効果的に協働するためのスキルを学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 「看護管理」看護の統合と実践①ナースンググラフィカ【メディカ出版】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 社会の変化と看護職の役割 【授業形態】 講義 【到達目標】 看護職が活躍する多様な場を知り、少子高齢化社会の中で看護職が果たす役割について知る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 看護現場に影響を与える制度と法律 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 医療制度と、看護に関わる政策・制度について知る。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 看護師の仕事とその管理・組織的な看護活動 【授業形態】 講義 【到達目標】 看護マネジメントとは、何をどのように行うことか(活動内容と方法)について知ることができる。 組織の構造と機能を知り、ヒト・モノ・カネ・情報・時間などの資源とその活用について理解する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 看護の質向上 【授業形態】 講義 【到達目標】 看護倫理、医療安全の基本的な概念を学び、組織変革に関する理論とアプローチ方法について理解する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 看護と経営 【授業形態】 講義 【到達目標】 看護活動が経営に与える影響を知る。 診療報酬制度と看護活動の関連について理解する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 セルフマネジメントと看護専門職とキャリア 【授業形態】 講義 【到達目標】 看護職自身の健康管理と、時間管理の方法について理解する。 看護専門職として、キャリアを重ねる意味を理解し、生涯学習について必要なことを考えることができる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 業務マネジメントの重要性を知り、他者と協働するための方法を理解する 【授業形態】 講義 【到達目標】 リーダーシップ理論を学び、チームとして機能するためのスキルと業務計画の立案・プロセスマネジメントについて考えることができる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
試験	【授業単元】 修了認定試験 【授業形態】 【到達目標】			【評価方法について】 評価は、筆記試験にて実施する。 講義中に重要点であることを示した内容の理解を求める。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術統合(多職種連携含む)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	45時間 (1)	開講区分	後期
学科・専攻	看護学科					曜日・時間	
【授業の学習内容と心構え】							
看護師の資格を有し、臨床経験のある教員が教授する。既習の知識・技術・態度を統合し、臨床に近い状況を想定した看護技術を実践する。そのため、判断・アセスメント力が必要となる。							
【到達目標】							
既習学習や既習実習における知識・技術・態度を統合し、様々な状況・場面に対応できる技術を実践することができる。また、看護業務における危険要因を知り診療の補助技術における事故防止のための正しい知識・技術を習得することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				既習看護技術の復習を行ってから望むこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】複数患者の多重課題演習 【授業形態】講義・事例紹介・事例検討 【到達目標】 複数患者の状況をアセスメントし、必要な看護計画を立案できる。			10	【授業単元】安全な輸液管理技術 【授業形態】講義・事例検討 【到達目標】 医療機器の正しい取り扱いが理解できる。また、看護計画を立案し、演習につなげることができる。		
2	【授業単元】複数患者の多重課題演習 【授業形態】事例検討 【到達目標】 複数患者の優先順位を考慮した看護計画を立案することができる。			11・12・13	【授業単元】安全な輸液管理技術 【授業形態】演習 【到達目標】		
3	【授業単元】複数患者の多重課題演習 【授業形態】事例検討 【到達目標】 複数患者の優先順位を考慮した看護計画を立案し、演習につなげることができる。			14ー23	【授業単元】リフレクション 【授業形態】グループワーク 【到達目標】 演習を振り返り、輸液における正しい管理を知り、実践することで適切な対処を考察することができる。		
4・5・6	【授業単元】複数患者の多重課題演習 【授業形態】演習 【到達目標】 事例を通して突発的な状況における優先順を判断し、場に応じた援助を実践できる				【授業単元】リフレクション 【授業形態】グループワーク・発表 【到達目標】 演習全体を振り返り、グループ発表することで、臨床における様々な場面におけるリスクを避け、安全な看護を提供するための学びを共有をすることができる。		
7	【授業単元】リフレクション 【授業形態】グループワーク 【到達目標】 演習を振り返り、多重課題を予測し、対処することについて考察することができる。						
8	【授業単元】リフレクション 【授業形態】グループワーク 発表 【到達目標】 演習を振り返り、多重課題を予測し、対処することについて考察することができる。また、グループ発表により学びの共有をすることで視点や看護を広げることができる。						
9	【授業単元】安全な輸液管理技術 【授業形態】講義・事例紹介・事例検討 【到達目標】 事例をよく読んでアセスメントし、看護問題を抽出できる。						
【特記事項】				【評価について】			
				演習・GWの参加状況、レポートの提出			